

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年10月24日（木）

2 確認箇所

移送設備（多核種移送設備建屋、移送設備配管）

3 確認項目

多核種除去設備等処理水の放出状況（第10回）

4 確認結果の概要

令和6年10月17日から第10回目の多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の放出が開始されていることから、その状況を確認した。

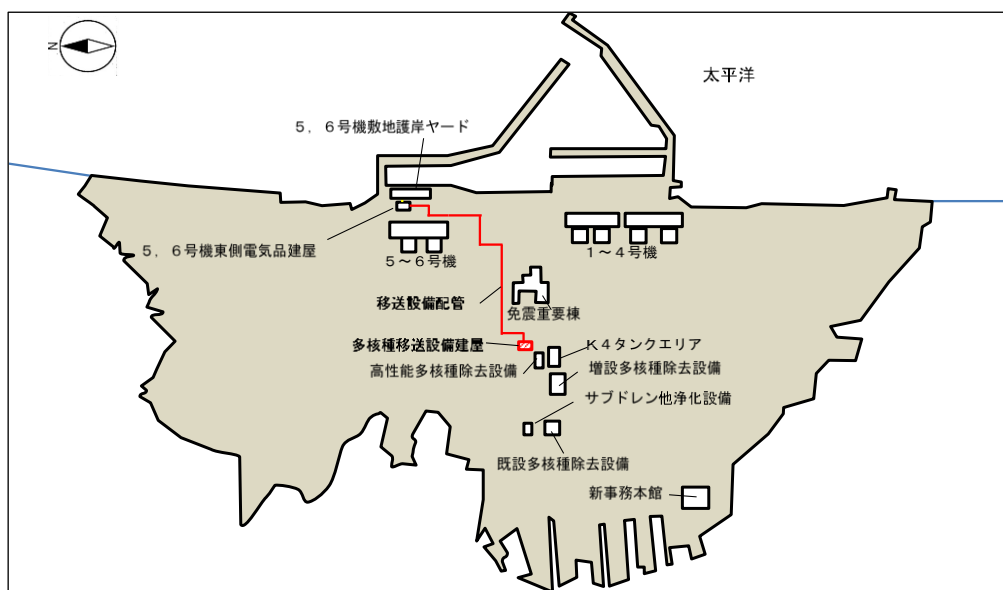
【前回確認日：令和6年10月17日（第10回放出）】

放出対象：ALPS処理水（測定・確認用サンプルタンクB群）

予定放出量：約7,780 m³

予定期間：令和6年10月17日（木）～同年11月4日（月）

- ・多核種移送設備建屋では、ALPS処理水移送ポンプ（B）が稼働しており、異音の発生、漏えい等の異常は認められなかった。（写真1）
- ・測定・確認用タンクから海水配管ヘッダに至るまでの配管（以下「移送設備配管」という。）を目視確認したところ、確認した範囲では、配管からの滴下等の異常は見られなかった。また、移送設備配管周囲はフェーシングが施されており、配管に影響を及ぼす恐れのある草木の繁茂は見られなかった。（写真2）
- ・多核種移送設備建屋では、循環ポンプ（測定・確認用タンクの循環攪拌時に稼働）の後段に設置されている流量調整弁の点検に向けた準備作業が行われていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



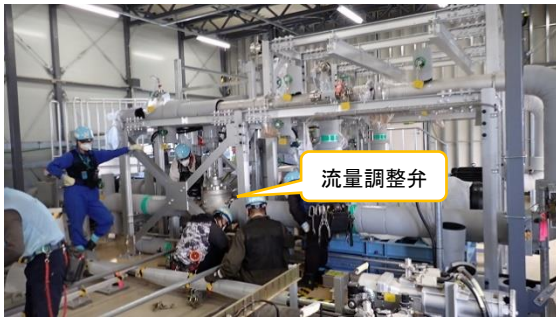
(写真1)
ALPS 処理水移送ポンプ (B) の
状況



(写真2-1)
移送設備配管の状況①



(写真 2 - 2)
移送設備配管の状況②



(写真 3)
流量調整弁の点検に向けた準備作業
の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。